



学校だより
第34号

西の子

西表小中学校
校長 宮城 弘之
令和2年3月2日

創立 129周年 校訓「明るく、かしこく、たくましく」

“稲作体験学習「田植え」”



2月27日(木)は稲作体験学習の一つ「田植え」を行いました。西の子の皆さんが自分たちで育てたもち米や黒紫米の苗を心込めて水田に植えました。田植え後は「田植びじラー」を全員で歌い、今年も豊作になるよう祈願しました。また、古見公子さんの指導のもと、保護者や子どもたちの協力で作った「シューシー」を、参加者全員で美味しく頬張りました。ご指導いただきました古見代志人さん、那良伊孫一さん、事業部長の曾根田真さん、古見公子さん、ご協力くださった保護者の皆さん、賛助会員、地域の方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました！
※3/1八重山毎日新聞に記事掲載(裏面)
♪ヒヤー今日ぬ日ばヨー 黄金日ば 調びょうりヨー(サーユイサヌ)♪

“食育講話・親子給食”

2月18日(火)は中学生を対象に「食育講話&親子給食」が行われました。多数の保護者に参加いただき、子どもたちの食の実態や学校給食への理解を深めることができました。

食育講話では、西部学校給食調理場栄養教諭 豊田花恵先生から「七大栄養素」について、また、朝食における必要な栄養素や不足分の補い方などを学び、自分の朝食を見直す良い機会となりました。親子給食では、ハヤシライス(サブランライス)などのメニューを親子で美味しくいただき、笑顔が沢山あふれていました。

保護者の皆さん、ご参加ありがとうございました！※3/1八重山毎日新聞に記事掲載(裏面)



“創立130周年記念事業「実行委員会」”

2月19日(水)は、西表小学校創立130周年記念事業「第2回拡大実行委員会」が開催されました。7月に期成会が設立され、これまで4回の実行委員会を開催し、諸準備を進めてまいりました。いよいよ令和2年度は式典・祝賀会など本番を迎えます。今後も、役員及び関係者の皆様のご協力をお願いします。



“3月行事予定”

- 4日(水) 専門委員会
- 県立高校入学者選抜学力検査①
- 5日(木) 県立高校入学者選抜学力検査②
- 6日(金) 卒業生を送る会
- 7日(土) 卒業式リハーサル 式場設営
- 8日(日) 卒業式
- 9日(月) 振替休日
- 10日(火) 振替休日
- 11日(水) 県立高校一般合格発表
- 13日(金) PTA年度末総会
- 14日(土) 干立送別会
- 19日(木) 修了式・離任式
- 白浜小卒業式 祖納送別会
- 20日(金) 公休日(春分の日)
- 22日(日) 白浜送別会
- 23日(月) 春季休業~4/6



←令和2年2月27日（木）の稲作体験学習（田植え）の様子

田植えを体験学習

西表小中校の子どもたち



【西表】西表小中学校（宮城弘之校長）による稲作体験学習の田植えが2月27日、学校近くの田んぼで行われた。地域で水稲を栽培する古見代志人さんと那良

学校近くの田んぼで一生懸命田植えをする西表小中校の児童生徒ら＝2月27日午後

伊孫一さんが指導に当たり、PTAや賛助会員も参加した。寒さすぎず暑さすぎず田植えにちょうどよい天気。学校で種もみから大事に育ててきた苗を田んぼに運び、すねまでつかって植えた。群から苗を取りやすい場所に投げて渡した児童はうまく届くと喜んでた。真つすぐの列になるよう植えるのが難しいが、毎年やっていると上級生の腕の見せどころ。初めての1年生は一生懸命植えていた。

古見さんは「米作りはこれだから大事。みんなで苗の成長を見守ってほしい」と話した。

島内ドライブで西部地区を満喫

こみゆサロン

【西表】西表西部地区の古見・美歌・由布の高齢者交流の場「こみゆサロン」（内根敏雄会長）はこのほど、9人が参加して島内ドライブを行った。日頃訪れる機会が少ない西部地区の

ね」と話した。田植えで汗を流した児童生徒は、古見公子さんと保護者が作ったシューシーおにぎりにまつしゅうら。中学生はすぐお代わりしていた。祖納岳から

ね」と話した。田植えで汗を流した児童生徒は、古見公子さんと保護者が作ったシューシーおにぎりにまつしゅうら。中学生はすぐお代わりしていた。祖納岳から

中学生の食育講話&親子給食の様子



親子給食を楽しむ中学生と保護者ら＝2月18日午後、西表小中校ランチルーム

親子で給食楽しむ

西表中が授業参観も

【西表】西表小中学校（宮城弘之校長）は中学生の親を対象にした親子給食を行った。この日は授業参観も行った。事前の生活調査では、家族がなかなかそろって食事をとれていないことが分かってきた。おいしい給食の魅力もあり、いつもは忙しい親も仕事の合間を縫って大勢参加し、楽しいだんらんの時間を過ごした。

この日は授業参観も行われ、中学生は4校時の食育講話で七大栄養素について学び、自分の朝食を具体的に挙げて見直し。足りない栄養素を取り入れるようアドバイスを受けた。

人頭税物

与那国

【与那国】県内外で活躍している俳優で歌手の、うちえち雄大さん（宮古島出身）が2月27日、町庁舎に外間守吉町長を訪ね著書の「宮古島人頭税物語第2弾 夢の扉」を町内の学校および中学生の分、合わせて53冊（CD付きセット）を「学習に役立ててほしい」と贈呈した。

明治後期（1897年頃）、宮古島で中村十作、城間正安氏らが命がけで行った人頭税廃止運動の歴史を

給食のメニューはサフランライスの黄色が食欲をそそるハヤシライス、カラフルサラダ、ぶどうゼリー。「多くて食べきれないかも」と話していた母親もきれいに完食し、懐かしい給食の味を堪能していた。3月で島を離れる中学3年生にとっては最後の親子給食だった。

（曾根田容子西部通信員）

